

平成30年度 港北区地域ケアプラザ事業実績評価

施設名	新吉田地域 ケアプラザ	篠原地域 ケアプラザ	高田地域 ケアプラザ	下田地域 ケアプラザ	大豆戸地域 ケアプラザ	樽町地域 ケアプラザ	城郷小机地域 ケアプラザ	日吉本町地域 ケアプラザ	新羽地域 ケアプラザ	
指定管理者名等	(福)横浜共生会	(福)横浜市社会福祉協議会	(福)緑峰会	(福)横浜共生会	(福)横浜市福祉サービス協会	(福)横浜共生会	(福)秀峰会	(福)緑峰会	(福)横浜共生会	
評価	A	A	A	A	A	A	S	A	A	
評価内容	全事業共通	地域ケアプラザと包括支援センターの連携により、一体的なサービス提供に努めています。地域内の商店、企業へ福祉活動への協力意向を確認するなど、福祉保健ネットワークの構築に努めています。	地域関係団体・活動団体の会議に向き、地域のニーズ把握を行い、地域住民の意向を自主事業へ反映する等、地域との連携を進めています。また、地域ケアプラザ・包括支援センター間で連携し、新しい事業を実施することでボランティアの発掘につながるなどの成果が出ています。	高齢者・子育て・障害者等を含む見守り・連絡体制の構築に向けて、地域関係団体・活動団体の会議に向き、情報共有や情報提供を行い、ネットワークづくりを進めています。また、地域ケアプラザ・包括支援センター間で連携して、合同で事業を実施するなど各事業の連携が進んでいます。また、ひつとプラン地区計画の推進では区と協働して地区支援を行っています。	地域課題を解決する取組について、地区組織内の協議をサポートしながら、行政等関係機関や地域の既存資源との連携を進め、各分野における事業化につなげました。また、日吉本町地域ケアプラザとともに、男性の地域活動会「ひつとプラン」の取組への支援を行っています。更に、参加者が協力者として地域活動に参加する機会も創出にも積極的に取り組んでいます。	企業も含めた既存の資源を開発や地域人材の活用を積極的に図るなど、地域の特性を活かした支援を的確に行うことにより、人と人・サービスや資源をつなげ、新たな資源の創出に成果を上げています。地域住民や事業に関わる人々の理解も広がっています。	地域課題を解決するために地域の関係団体や関係機関との協働を積極的に進め、地域での新たな活動の創出等の成果がありました。また、地域ケアプラザから離れた地区で継続実施している出張相談は、地域に根付いており地域密着型の相談窓口としての機能を果たしています。ひつとプラン地区計画では地区数が多い中、各地区に丁寧に関わり、推進支援を行っています。	地区社会福祉協議会、地区センター、学校を始め、地縁組織に拠らないボランティアなどの協働を積極的に進め、協働事業を複数立ち上げるなど、新たな資源の創出に寄与しました。更に、活動場所の探索やボランティアの発掘と活動拡大にも効果を上げ、地域にとって極めて大きな成果を上げています。また「ひつとプラン」の地区の取組を主体的に推進するとともに、区民フォーラムの企画に関わるなど、区計画・地区計画の推進にも貢献しています。	部門間及び職種間の連携により、個別課題への迅速な対応や地区特性に合わせた新たな事業の創設に成果がありました。また区事業の開催に協力して住民のニーズに応え、地域ケアプラザの認知の拡大に努めました。更に下田地域ケアプラザとともに、男性の地域活動支援と日吉地区社会福祉協議会の進める「ひつとプラン」の取組への支援を行っています。	基幹相談支援センターが同じ建物内にある利点をいかして、幅広い相談に対して連携して対応しています。また、地域と福祉施設、ボランティア等がお互いに知り合える機会をつくることを目的に、会議の場などを活用して交流が進む仕組みづくりを行いました。ひつとプラン地区計画では、地区の取組に対して主体的に関わり、推進支援を行っています。
	地域活動交流事業	様々なボランティアの育成から、実際の活動につながる人材の発掘に努めています。また、登録団体の協力を得て、他事業との協働を図ることで、それぞれの活動の活性化に効果がありました。このほか地域の福祉施設や地区センターとの連携を通して、地域福祉活動の理解が深まり、活動の拡大につながっています。	様々なボランティアの発掘に取り組み、実際の活動につながるようコーディネーターを行っています。また、今年度からブログでの情報発信を行い、地域情報やケアプラザの紹介を行い、幅広い世代へ情報が届く仕組みづくりに取り組んでいます。	子どもの居場所づくりに向けて様々な取組を行い、新しい人材の発掘や実際の活動に結び付くなどの成果を上げています。また、近隣小中学校と連携して地域・福祉理解の啓発に努め、将来の人材育成を進めています。	登録団体間での交流を進めるとともに、地域ケアプラザの事業を活用したボランティアの発掘に努め、様々な分野のボランティアの獲得に成果を上げました。また既存の地域活動の活性化支援や自主事業との連携を深めています。地域独自の広報手段を活用し、事業への参加者の獲得に効果を上げています。	様々な事業への参加者を増やす工夫に取り組んでいます。また、自主事業における参加者同士の交流を通して、支援される側から支援する側への転換を積極的に進め、人材の発掘に成果を上げています。	多世代交流の推進に取り組み、子育て世代から高齢者までの幅広い層に来館してもらうため自主事業の企画や既存事業の強化を行い、成果を上げました。また、近隣中学校と連携して地域・福祉理解の啓発に努め、将来の人材育成に努めています。	子ども・高齢者・多世代それぞれの新たな交流の場づくりや事業の安定化につながる等大きな成果を上げました。地域外からも積極的に情報を収集し、組織と組織または人と人をつなぐため、地縁組織以外の地域活動への支援にも注力しています。更に、支え合い連絡会の会議運営、地域の見守り活動や小学生向け啓発講座の開催を支援しています。	事業と事業、地域資源等をつなぐことで、参加者の増加や意欲の向上・活動の拡大等自主企画事業の活性化に成果がありました。また、区社協を始め、主任児童委員やボランティアを組織し、通学援助支援を実施しています。ITによる情報提供にも積極的に取り組みました。	子どもや子育て世代に向けた新たな事業を実施して来館者の増加につながっています。事業間の連携によりボランティアが活躍する場を創出する等、様々な工夫を行いボランティアの育成に取り組んでいます。また、地域の商店等に地域ケアプラザの情報を届けることで、日頃は地域ケアプラザを利用しない層への情報発信に取り組んでいます。
	生活支援体制整備事業	5職種での連携を密に行い、個別の相談内容から地域課題を抽出する取り組みを行っています。また、地域ケアプラザ内の部門の垣根を越えて、職員全員体制で地域支援の企画を推進しています。	地域の情報交換会や会議等において地域の状況や課題の共有、顔の見える関係づくりに積極的に取り組んでおり、近隣区との連携強化にも努めています。	地域団体の定例会や地域ケア会議を活用し地域の情報共有に努める等、5職種で連携し事業の推進と定着支援に取り組んでいます。	地域の会議等への積極的な参加と客観的なデータ分析から、当該地域の特色や課題を把握し、5職種それぞれの役割の中で支援や事業の取組に生かしています。	地域住民の集まりに積極的に参加し、十分な情報交換ができる関係性を築き、地域で支えあう仕組みづくりを行っています。また、介護予防・生活支援サービス補助事業の団体の状況を把握し、活動が継続できるように運営支援を行っています。	綱島出張相談所の職員とも定期的に集まり、5職種で地域課題の共有に取り組んでいます。地域の活動・会議に積極的に参加し現状を把握し、課題解決に向けて地域住民と情報共有ができています。	介護予防・生活支援サービス補助事業の団体の運営・支援では、区内トップとなる圏域内3か所目の立ち上げに向けて準備を進めています。また、各事業で育成している人材が新たな通いの場の運営等でも活躍できるよう、5職種で連携して働きかけを行うなど、職員一丸となって取り組んでいます。	事業を推進していくうえで、5職種間で情報共有、連携する関係が構築できており、地域との協働にも繋がっています。	H30年度は新たに介護予防・生活支援サービス補事業(福茶きらり)の立上げ協力や、新羽協議体(みどりの輪)を継続して開催し、地域の集いの場の開発や担い手の発掘に精力的に取り組んでいます。
	地域包括支援センター運営事業	地域ケアプラザの立地が山の上にあるため、個別訪問や出張相談会を行うなど工夫し、地域に積極的に出て相談活動を行っています。	個別支援や地域課題の解決に向けて、地域の支援者やケアマネジャー、近隣医療機関等とのネットワーク構築に積極的に取り組んでいます。	認知症キャラバン・メイトと連携した小学生向け認知症サポーター養成講座の実施、認知症予防スリーAボランティアの活動継続支援等、予防から見守り体制の構築まで認知症対策に力を入れて取り組んでいます。	個別支援から普及啓発事業、地域の支援者等とのネットワーク構築等まで幅広く取り組み、地域の支援体制の強化に向けて実践しています。	認知症サポーター養成講座は、受講者が約600名と企業を含め多くの地域住民に認知症に関する普及啓発に取り組んでいます。また、今年度初開催の「認知症のイメージを変える図書館のつどい」は参加者より大変好評であり、包括圏域を越え、他の包括域にも影響を与えています。	高齢者人口の多い大規模な圏域であるため、綱島・師岡で出張相談を行いながら、区民の相談に対応しています。相談内容から課題を把握して、一貫したテーマに基づき、個別ケア会議・包括ケア会議を連動した形で開催できています。認知症予防スリーA支援者養成を実施して、人材の育成にも取り組みました。	地域の支援者・活動グループ・関係機関等の会議への定期的な参加や、区・区社協と連携しての個別レベルを踏まえた包括レベル地域ケア会議の開催等を通じて、地域課題の解決やネットワーク構築に積極的に取り組んでいます。認知症の普及啓発では認知症キャラバン・メイトの活動を地域に向けPRし支援しています。	個別支援から普及啓発事業など幅広く取り組みがされています。認知症事業においては、認知症キャラバン・メイトと連携し普及に取り組み、認知症予防では、人材育成に力を入れるなど地域の力を上手く活用しながら事業推進しています。	日々の相談内容から地域分析より見守りツールの必要性の高さを判断し、地域ケア会議等で関係機関と課題の共有・ツールの必要性を確認してきました。その結果、地域の意識の変革につながり始めています。また、相談件数の増加とともに相談内容も多様化している中で必要な関係機関と連携しながら対応しています。

【評価の考え方】

評価	内容
S	特筆すべき実績・成果が認められ、事業の実績が優良な施設
A	事業の実績が良好であった施設
B	改善の必要性が多数認められ、事業の実績が良好でない施設